

2020年6月30日  
東京電力エナジーパートナー株式会社  
芙蓉総合リース株式会社  
株式会社ファームシップ

## **世界最大の完全人工光型植物工場を7月1日から操業開始** **～1日あたり最大5トンの葉物野菜を安定的にお届けします～**

東京電力エナジーパートナー株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：秋本展秀）と芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：辻田泰徳）、株式会社ファームシップ（東京都中央区、代表取締役：北島正裕・安田瑞希）の3社の合弁会社である彩菜生活合同会社（以下「彩菜生活」）は、LED照明を活用した完全人工光型の植物工場を静岡県藤枝市に建設し、7月1日から操業開始することとなりましたのでお知らせいたします。

3社は、レタスを中心とした葉物野菜の生産・販売事業を行うことを目的として、2019年4月に彩菜生活を設立しております。 [（2019年3月25日お知らせ済み）](#)

本工場の建設にあたっては、植物工場の運営実績を持つファームシップのノウハウを生かして、より効果的に育成する独自のLED照明を採用し、栽培スペースの最適化等を実現することで、完全人工光型の植物工場として世界最大となる1日あたり約5トン（100g/株換算で約5万株）相当の生産能力を有します。

本工場では、生産した葉物野菜を、主に関東・中部・関西エリアで弁当や惣菜を製造する食品加工工場等に出荷するとともに、販路を拡大し、1年後にはフル稼働で生産できる体制を目指してまいります。

完全人工光型の植物工場は、異常気象や天候不順、新型コロナウイルスのまん延等の食料生産・流通におけるリスクに加え、農業従事者の減少や高齢化、食料自給率の低下等、日本の農業が抱える社会的課題を解決できる取り組みとして、近年、注目されております。葉物野菜の形や味に加えて、栄養素を一定の品質に保つことができる他、農薬を使わずに病害や害虫を防ぐことができます。また、外部環境の影響を受けず、衛生的な環境下で栽培することで、高い鮮度を通常よりも長く保持することが可能となり、食品ロス低減にもつながります。

3社は、彩菜生活の本工場における取り組みを通じて、外部環境に左右されない安定した食料生産システムの確保による強靱（レジリエント）な農業の実践や、雇用創出による地域活性化等、SDGsの理念である「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」に貢献してまいります。

<藤枝工場の概要>

- ・所在地 : 静岡県藤枝市高柳 2712-2
- ・延床面積 : 約 9,000 m<sup>2</sup>
- ・操業開始 : 2020年7月1日
- ・生産野菜 : レタス等の葉物野菜
- ・生産能力 : 1日あたり約5トン



工場外観



工場内観

<彩菜生活合同会社の概要>

商号	彩菜生活合同会社
設立	2019年4月26日
所在地	東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
出資金	5億円
出資比率	東京電力エナジーパートナー株式会社 50% 芙蓉総合リース株式会社 49% 株式会社ファームシップ 1%
事業内容	野菜の生産および販売

以上

**【本件に関する報道関係の皆さまからのお問い合わせ先】**

東京電力エナジーパートナー株式会社 広報企画グループ 050-3116-3147

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (木村・奥住) 03-5275-8891

株式会社ファームシップ 経営管理グループ 03-5829-9601